



平成 23 年 3 月 31 日

各 位

会 社 名 大 幸 薬 品 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 柴 田 高
(コード番号：4574 東証第一部)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 財 務 本 部 長 吉 川 友 貞
(TEL. 06-6382-1135)

事業構造改善に伴う特別損失の追加計上に関するお知らせ

平成 23 年 2 月 15 日付「事業構造改善に伴う特別損失の計上に関するお知らせ」にて発表致しました「感染管理事業に係る一部在庫の処分」に関連し、当社は、平成 23 年 3 月 31 日開催の取締役会において、別途、対象となる在庫の処分を決定致しました。これに伴い、特別損失の追加計上を予定致しますので下記の通りお知らせ致します。

記

1. 感染管理事業に係る一部在庫処分と特別損失の追加計上について

平成 23 年 2 月 15 日に発表致しました通り、当社は、今後の受注が見込まれないと判断した商品『クレベリン マスク』及び『クレベリン ハンドジェル』について、本日を以って販売を終了することを既に決定しており、当該在庫に係る「たな卸資産処分損」約 340 百万円の特別損失計上を当期（平成 23 年 3 月期）に予定しております。

また今回、同じく感染管理事業に係る保有在庫のうち、当面の販売・生産計画に照らし、過剰と判断した在庫（携帯型ゲル剤に係る資材）についても処分を決定したことから、「たな卸資産処分損」約 30 百万円の追加計上を予定することと致しました。

当社は、感染管理事業における在庫水準の早期適正化や倉庫保管料削減等を喫緊の課題としており、既に販売終了を決定した在庫や過剰と判断した在庫等については、迅速な廃棄による処分を前提とした一方、製品認知度向上に向けたサンプル提供のための無償配布や、平成 23 年 3 月 11 日に発生した「東北地方太平洋沖地震」の被災地域に対する救援物資としての活用も可能な限り進めております。今回の決定は、活用が困難と判断した約 30 百万円相当の資材について、最終的に廃棄処分の対象としたものであります。

2. 今後の見通し

今回、追加計上となる約 30 百万円の損失については、『クレベリン マスク』及び『クレベリン ハンドジェル』に係る損失約 340 百万円同様、事業構造改善に伴う費用として、当期の連結業績予想に既に織込済みであります。一方、平成 23 年 3 月 8 日に発表致しました通り、他の事業構造改善策として当第 4 四半期に実施した「希望退職者の募集」に伴う特別損失約 155 百万円につきましては、連結業績予想に見込んでおりません。ただし、他の要因も含めた精査が必要なことから、現時点では連結業績予想を修正せず、修正の必要が判明した際には、速やかにお知らせ致します。

以 上